

2025 年度 社会福祉法人日本点字図書館 事業報告

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

《重点項目》

はじめに

本年 3 月、当法人の会長職にあった田中徹二が逝去した。当館 85 年の歴史における前期 40 年余りの後半部を直接知る者がまた一人世を去った。

田中は失明間もない 1954 年ころ、その将来について創立者・本間一夫にも相談し、有用なアドバイスを得て進路を定めていったと言う。1955 年ころからは当館の利用者となり、図書の貸出を受けることはもとより、館で行なわれたエスペラント講座などの学習会やイベントなどにも積極的に参加している。本間との親交や当館の利用の中で、1979 年からは評議員に、1990 年には理事に就任するが、本間や直居副館長（当時）に請われて 1991 年、2 代目館長として招き入れられた。

館長、その後の 2001 年に理事長に就任した田中は点字・録音図書の製作におけるデジタル化を推進するとともに、アジア盲人図書館協力事業の実施、自立支援課の開設など、新たな事業も展開した。田中の旅立ちは、当法人の一時代の終わりを告げると同時に、その運営が次の世代の者に委ねられたことを明確にするものでもあり、それを託された者としては重責をひしひしと感じ、身が引き締まる思いである。

2025 年度の事業は、田中が見守った最後の年度になる。事業計画に挙げた事項は、一部完了していない項目があるものの、概ね達成できた。加えて決算も前年度に続き黒字となり安堵している。その要因の一つには、2025 年度は夏に参院選が、冬には突如衆院選が行われたため、選挙公報紙としての点字版、録音版の製作に当たった収入が挙げられる。製作現場の職員は、その作業に忙殺され、極めてタイトな日程の中、残業や休日出勤等によって遅滞なく納品した。その力量と技術力を心強く思い、改めて謝意を表したい。

とはいえ、財源については今日の社会情勢等を踏まえると、大いなる不安材料が認められるだけにしっかりとした策を講じる必要がある。

うれしい受賞もあった。10 月、ゲーミング図書館アワード実行委員会主催の「ゲーミング図書館アワード 2025 優秀賞」が当館に贈られた。授賞式は 2025 年 10 月 23 日にパシフィコ横浜の図書館総合展内で行われた。1984 年から当館で始まった視覚障害者のための

定期的なゲーム会の実績が評価されたものである。

一方、内部的には法人そのものが各事業を持続できる基盤を整備し、強化することも重要な課題となっており、その解決に向けた行動も進めねばならない。一歩前へ前進させたい。

以下に、事業計画に設定した五つの重点項目について実施した事項を報告する。

1. 第2期読書バリアフリー基本計画での実証調査への積極的協力

国が策定した第2期読書バリアフリー基本計画が2025年4月から始動した。今回の実施期間で国は、特定書籍・特定電子書籍等の製作の支援（第11条関係）に当たって製作者への電磁的記録（電子データ）の提供に関する課題や具体的方法について、主導して実証調査を実施することになっている。その調査では、当館は協力館となるよう事前に依頼され、中心的な役割を果たしている。出版社から電磁的記録の提供がなされることは、点字・デイジー図書等の製作やプライベートサービスにおいて効率化をもたらし、製作期間の短縮が図られる可能性があり、当館としても期待を寄せているところである。

実証実験は、国主導によるシステムの構築や仕様の検討に時間を要し、実際に始動したのは8月からである。当館では期間中、124件のテキストデータを請求したが、データ提供を受けられたのは44件（35.5%）に留まった。

なお、この実証実験において点字図書館界では当館を含め全国の点字図書館5館が協力した。また2026年度には参加館を増やして実験を継続することになっており、当館は引き続き協力すると同時に、指定管理を担う川崎市視覚障害者情報文化センターも参加する予定である。

2. 図書製作等における生成AI活用の可能性についての実証的検討

ChatGPTの有料プランを契約し、点字製作課・録音製作課の各グループに導入した。

図表や画像の説明文作成、語句の読み調査等のほか、特定の作業を自動化するツールを作成させるなど、幅広い活用がみられた。そうして得られた知見は、図書製作部長・点字製作課長・録音製作課長・両課関係職員で構成する「製作効率化検討ワーキンググループ」を立ち上げ、共有化に努めた。またChatGPT以外にもGeminiやClaudeといった競合するAIサービスや、新しいOCR・音声化ツール等を随時比較検証し、日進月歩の技術動向をフォローしながら、業務の効率化を進めている。

3. 安定した財政基盤構築に向けた取り組み

近年は募金収入の減少や事業収益の伸び悩み、公的助成の抑制などの傾向が顕著であり、今後の財政状況は厳しさを増すことが予想される。財政の逼迫はサービスの質の低下や劣化にも繋がることから、法人の収入の維持・増額や、支出の適正化を総合的に検討する体制を整え、そこから得られる改善のための方策の実現に取り組むべく行動した。

具体的には証券会社の社員に来館いただき、国債についての勉強会を開催し、常勤理事、

ならびに各部長、会計担当の部長付き課長が参加した。これを踏まえてその後、本部長・総務部長・総務課長・会計担当等で国債での基金運用について具体的な検討を行い、その購入に動いた。

寄付者の開拓では、クレジットカード会社が提供するサービスを活用し、新たな方々への寄付のお願いを行い、一定の成果が得られた。

4. 本間一夫生誕 110 年記念事業の実施

2025 年は当館の創立者・本間一夫生誕 110 年に当たると同時に、ルイ・ブライユによる 6 点式点字考案 200 年でもあった。点字を習得したことで道が開かれ、それによって生かされた本間一夫と当館について、これまで収集した資料を基に未発表の事項をまとめ、記念誌を作成し、当館の広報に活用することを計画した。また点字文化を守り、創造し、継承する役割を担う点字図書館として、広報誌『にってんフォーラム』でも関連する短期連載を組んだ。

記念誌は、本間記念室・ふれる博物館運営委員でもある西脇智子氏（実践女子大学短期大学部）の執筆協力をいただきながら本部長・館長ならびに文化資料室の濱田を中心に編集作業を進めた。諸般の事情により、まだ作業を継続しているところである。

『にってんフォーラム』では、本間一夫生誕 110 年を広報すべく「生誕 110 年記念特別連載 創立者本間一夫の生涯」を掲載中。141 号（2026 年 10 月）で連載を終了する予定である。また六点式点字制定 200 年を記念しては同誌に「点字で生きる」を連載し、外部の現役の点字使用者に執筆いただいた。

5. 会計業務の一元化に向けての検討の再開

当館の会計システムは現在、本部と用具事業課の 2 本立てになっている。これによるデメリットは少なくなく、以前から改善の必要性が指摘されていた。そこで 2023 年度に重点項目として設定し取り組もうとしたが、電子帳簿保存法に基づく会計関連業務効率化を優先したために先送りとなっていた。会計事務でのデジタル化は一定程度進んできたので、改めて会計業務の一元化に向けた作業に着手した。

会計業務の一元化にあたっては、本部と用具事業の会計担当者間で定期的に業務の流れの確認と問題となる点の洗い出しを行い、会計事務所に相談をしながら改善方法の検討を行った結果、ある程度のめどがついた。2026 年度の 4 月から 6 月までは決算業務があるため、7 月に用具事業の会計担当者を総務課内へ異動させ、業務を運用していくこととなった。

I ≪社会福祉事業 1≫

視聴覚障害者情報提供施設の設置経営及び全国の視聴覚障害者情報提供施設に関する連絡事業

[利用サービス]

図書情報提供サービス

サービスの実績

	2025 年度	2024 年度
① 利用登録者数	12,753 名	12,914 名
（新規登録者数 目標 350 人以上獲得）	267 名	313 名
（点字使用者数）	6,098 名	6,240 名
② 利用登録団体数	599 団体	595 団体
（新規利用登録団体数）	4 団体	3 団体

【個人利用登録者の除籍について】

267名の新規登録があった一方で、161名の除籍を行った。内訳として、ご逝去や、認知症・寝たきりなど高齢で読書が困難となったという理由が判明しているだけで90%以上を占めている。

③ 点字図書の総数・蔵書数および貸出・提供数

「総数」とは、当館製作分で点字データのみで管理しているタイトルを含めた数である。なお、「蔵書数」については従来通り、冊子体として書庫に配架されている数である。

総数	（タイトル）	24,281 タイトル	23,781 タイトル
	（冊数）	88,091 冊	86,762 冊
蔵書数	（タイトル）	23,696 タイトル	23,200 タイトル
	（冊数）	87,506 冊	86,181 冊
蔵書数の変化	（新収書）	630 タイトル	628 タイトル
		1,733 冊	1,718 冊
	（除籍書）	408 冊	864 冊
貸出・提供数（目標 5,000 タイトル）		4,707 タイトル	5,523 タイトル
内訳			
（ア）USB・SD カード等		375 タイトル	545 タイトル
（イ）冊子体		4,332 タイトル	4,978 タイトル
		15,112 冊	17,089 冊

(内 他館借受)	339 タイトル	553 タイトル
	1,118 冊	1,593 冊

④ 録音図書の総数・蔵書数および貸出・提供数

「総数」とは、当館製作分でデータのみで管理しているタイトルを含めた数である。
 なお、「蔵書数」については従来通り、媒体(CD)として書庫に配架されている数である。

総数	(タイトル)	28,363 タイトル	27,526 タイトル
	(巻数)	55,387 巻	53,494 巻
蔵書数	(タイトル)	21,934 タイトル	21,366 タイトル
	(巻数)	48,958 巻	47,334 巻
蔵書数の変化	(新収書)	619 タイトル	734 タイトル
		4,266 巻	4,829 巻
	(除籍書)	2,642 巻	3,583 巻
貸出・提供数(目標 235,000 タイトル)			
		222,701 タイトル	229,470 タイトル
内訳			
(ア) SD・CF カード等		93,761 タイトル	96,645 タイトル
(イ) CD 図書		61,216 タイトル	66,717 タイトル
		61,918 枚	67,507 枚
	(内 他館借受)	8,957 タイトル	9,217 タイトル
(ウ) CD 雑誌	(にってんデイジーマガジン含む)		
		67,710 タイトル	65,963 タイトル
		67,710 枚	66,004 枚
(エ) カセットテープ		14 タイトル	144 タイトル
		68 巻	776 巻
(オ) カセットテープ雑誌		0 巻	1 巻

⑤ にってんデイジーマガジン (目標 62,000 枚配布)

(ア) 個人配布 (CD)	4,560 名	4,991 名
(イ) 団体配布 (CD)	240 団体	245 団体
(ウ) 外国在住者配布 (CD)	7 名	9 名
(エ) 年間配布数 (CD)	59,202 枚	62,082 枚
(オ) サピエ図書館年間延べ利用	17,364 名	20,731 名

⑥ インターネット配信・サピエ図書館による資料の提供 (当館分)

(ア) データのアップロード		
書誌データ	新規	766 件
	更新	2,574 件
		878 件
		3,069 件

削除	92 件	88 件
点字データ	143 タイトル	153 タイトル
音声デイジー	448 タイトル	441 タイトル
テキストデイジー	201 タイトル	203 タイトル
マルチメディアデイジー	13 タイトル	9 タイトル
(イ) データのダウンロード (点字)		
プリントアウト	25 件	16 件
	42 タイトル	29 タイトル
	17,707 ページ	9,615 ページ
(ウ) 利用者によるダウンロード (当館製作コンテンツ)		
パソコン		
点字データ	11,398 回	12,918 回
音声デイジー	128,833 回	140,075 回
テキストデイジー	14,860 回	16,429 回
マルチメディアデイジー	556 回	382 回
デイジーオンライン		
音声デイジー	211,198 回	317,972 回
テキストデイジー	12,858 回	16,174 回
マルチメディアデイジー	736 回	716 回

⑦ レファレンスサービス、書誌データの整備ならびに日本目録規則に関する情報収集

オンライン蔵書目録利用者が、当館の蔵書の中から様々な角度からのアプローチで目的の資料を探し出せるよう、日本十進分類法(NDC10 版)に対応した当館の目録規則に従い、書誌データの整備を行った。また、新たな日本目録規則(NCR2018 年版)について、国立国会図書館や公益社団法人日本図書館協会・株式会社図書館流通センター・システム開発保守業者等から情報収集を行ったが、まだ方針・対応が公開されていない団体もあるため大きな変動がなく、使用しているシステムに即影響を受けることがなかったため、課内担当者間での情報共有に止めた。

情報提供件数	51,095 件	50,474 件
情報提供先合計	4,964 件	5,109 件
(内 学生)	7 名	2 名
(内 社会人)	4,934 名	5,087 名
(内 団体)	23 団体	20 団体

⑧ 点字・録音図書の収集

点字購入図書	6 タイトル	5 タイトル
点字購入雑誌	12 誌	12 誌
録音購入図書	4 タイトル	2 タイトル

⑨ 利用サービス部図書情報課による図書の即時製作選定

利用者の声を直接聞く図書情報課の選書委員に、一部製作選定権を与え、利用者ニーズの高い日本文学（小説）を中心に、点字図書 12 タイトル、デージー図書 12 タイトルの製作選定を行った結果、早期に当館が製作着手することができた。以下に製作選定した主なタイトルを紹介する。

- ・伊坂幸太郎著「さよならジャバウォック」

点字図書・デージー図書で製作

- ・畠中恵著「まる丸伊勢参り」 点字図書で製作
- ・小川洋子著「サイレントシンガー」 デージー図書で製作

⑩ テレビ・デージーの利用促進と提供

NHK（日本放送協会）の許可を得て、音声解説付きで放送されている NHK のテレビ番組から職員が選定し、録音した音源をデージー編集した当館オリジナルのサービスであるテレビ・デージーについて、にってんデジーマガジンや当館のホームページにある蔵書検索・予約システムの WebOPAC、サピエ図書館の「施設からのお知らせ」等、積極かつ、迅速に製作選定と広報活動を行ない、視覚障害者等に対して CD 等で提供を行った。

- ・テレビ・デージー 総タイトル数 442 タイトル
- ・2025 年度新規受入タイトル数 48 タイトル

【2025 年度利用状況】

年間の貸出ベストリーダーの上位 100 位中、10 タイトルのテレビ・デージーがランクインしている。利用の高かった主なタイトルを以下に紹介する。

- ・「日本の話芸」シリーズ
- ・「スペシャルドラマ 坂の上の雲」
- ・「連続テレビ小説 あんぱん」
- ・「時代劇 柳生十兵衛七番勝負」
- ・「BS 時代劇 雲霧仁左衛門 ファイナル」
- ・「大河ドラマ 篤姫」

⑪ 利用者用目録の製作と提供

- ・点字図書新刊案内「にってんブレイル」
(年 6 回、点字版 910 部) を編集・発行
- ・録音図書新刊案内「にってんボイス」
(年 6 回、点字版 1,080 部・墨字版 505 部・録音版 29,669 部
計 31,254 部) を編集・発行

なお、録音版については、「にってんデイジーマガジン」及び「サピエ図書館」で提供した。

・年間追加目録

点字図書年間追加目録 点字版を編集・発行

録音図書年間追加目録 点字版を編集・発行

CD 図書年間追加目録 デイジー版を編集・発行

・蔵書目録の頒布 47 部

点字図書 点字版 0 冊頒布

録音図書 点字版 11 冊、墨字版 6 冊、CD 版 30 枚頒布

⑫ プライベートサービス

専門書を対象に事前予約制で対面リーディングサービスを実施した。

(目標：延べ 200 人)

延べ	281 名	236 名
利用時間	551 時間	500 時間
活動ボランティア	42 名	45 名

⑬ IT 教室/IT 体験クラスの開催

水曜日・金曜日開講の初心者向けの教室を 1 回 90 分（全 3 回）で再開した。

・初心者向けクラス（パソコン受講）

開催回数	0 回
延べ受講者数	0 名
受講者数	0 名

・初心者向けクラス（iOS 受講 ※2016 年度より開講）

開催回数	29 回
延べ受講者数	10 名
受講者数	10 名

・初心者向けクラス（パソコン+ iOS 受講 両方受講）

開催回数	0 回
延べ受講者数	0 名
受講者数	0 名

土曜日開講の体験クラスを 1 回 90 分に戻して開講した。

・初めてパソコンにふれる人を対象とした、予約制による 1 回 90 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回まで）の操作体験クラス

開催回数	2 回	5 回
受講者数	2 名	5 名

・初めて iOS にふれる人を対象とした、予約制による 1 回 90 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回まで）の操作体験クラス(※2016 年度より開催)

開催回数	11 回	18 回
------	------	------

- | | | |
|------|------|------|
| 受講者数 | 11 名 | 18 名 |
|------|------|------|
- ・初めて iOS とパソコン両方にふれる人を対象とした、予約制による 1 回 90 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回まで）の操作体験クラス

開催回数	1 回	4 回
受講者数	1 名	2 名

⑭ サピエ図書館の利用促進

サピエ図書館の利用促進のため、来館者や電話、新規利用登録の際、利用者の読書環境を考慮しながら、サービス概要説明を積極的に行った。

- | | | |
|---------------------|---------|---------|
| ・当館を登録館としたサピエ個人登録者数 | 3,644 名 | 3,502 名 |
|---------------------|---------|---------|

⑮ 各システムの維持管理と機器の更新と改修

- ・サピエ図書館、および当館の基幹システムである CLIS 図書館総合システムの安定的稼働に努めた。また、サピエ図書館においては、「完成通知」「逐次刊行物新着案内」といった新機能の追加などについて、各開発保守業者、全国視覚障害者情報提供施設協会関係者、各専用端末・ソフトウェアの開発販売業者と協力して行った。
- ・国内 69 団体の点字図書館等が導入している、サピエ図書館と一体化された出納業務管理システムである Web 図書館システムについて、電話やメール、サピエ研修会などで運用支援を行った。

⑯ 視覚障害以外の障害者への読書支援

- | | | |
|---------------------|------|------|
| ・全利用登録者数 | 61 名 | 59 名 |
| ・新規利用登録者数 | 2 名 | 4 名 |
| ・当館を登録館としたサピエ個人登録者数 | 49 名 | 48 名 |

[図書製作]

1. 点字図書・触図等の製作

(1) 点字図書の製作、ボランティアの養成・指導

	2025 年度	2024 年度
① 発表点字図書数	181 タイトル 835 冊	170 タイトル 746 冊
(ア) ボランティアによる点訳書	150 タイトル 755 冊	140 タイトル 655 冊

(イ) 点字出版図書

31 タイトル	30 タイトル
80 冊	91 冊

② ボランティアの養成・指導

(ア) ボランティアによる点訳受入実績

123 タイトル	157 タイトル
583 冊	753 冊

(イ) ボランティア数（年度内点訳・校正実績有）

49 名	50 名
7 グループ	6 グループ

(ウ) 現役点訳者を対象とした点訳技術指導

延べ実施数	1 回	1 回
延べ人数	56 名	59 名

③ リクエストによる点字図書製作・ボランティア実績（東京都委託分）

(ア) 点訳希望者	101 名	148 件	65,683 ページ
(イ) 点訳者	16 名	14 グループ	

(2) 点字図書・点字教科書等の製作・頒布

① プリント図書の頒布	14 件	17 件
	45 冊	41 冊
	4,332 ページ	3,258 ページ
② 点字プリントアウト・サービス	108 件	293 件
	29,283 ページ	19,528 ページ
③ 点字出版図書の頒布	342 タイトル	303 タイトル
	958 冊	903 冊
④ 点字図書給付事業取扱件数	104 件	110 件
	154 冊	170 冊
⑤ 視覚特別支援学校理療科用教科書の頒布		
『医療と社会』点字版	7 件	2 件
	28 冊	8 冊
『医療と社会』点字版（点字データ版付き）		
	8 件	2 件
	32 冊	8 冊
『医療と社会』点字版（デイジー版付き）	3 件	1 件
	12 冊	4 冊
⑥ 視覚特別支援学校高等部用教科書の頒布		

『be English Logic and Expression I Clear』		
	28 件	27 件
	168 冊	162 冊
『be English Logic and Expression II Clear』		
	4 件	10 件
	20 冊	50 冊
『科学と人間生活』	18 件	26 件
	162 冊	234 冊

⑦ 文部科学省著作教科書の製作

特別支援学校中学部視覚障害者用『社会（公民的分野）』（3年生用）

26 件	31 件
312 冊	372 冊

⑧ 普通校に通う生徒のための点字教科書の製作

3 教科 69 冊	11 教科 54 冊
-----------	------------

⑨ 自費出版図書の発行など

『中途視覚障害者のための点字入門』81冊を販売した。

『試験問題の点字表記 第3版』34冊を販売した。

『日本点字表記法 2018年版』21冊を販売した。

『点訳のしおり 新版』13冊を販売した。

(3) 各種点字印刷物、触図等の製作・監修

① 団体・企業等からの依頼による点字印刷物の製作

ラジオ番組表、試験問題、会議資料等 各種の製作

② 団体・企業等からの依頼による触知案内図・点字サインの製作・監修

公園等案内板 各種の製作・監修

駅施設案内板 各種の製作・監修

2. 録音図書・録音雑誌・電子書籍の製作

(1) 録音図書の製作、ボランティア実績

	2025 年度	2024 年度
① 発表録音図書数	300 タイトル	326 タイトル
	2582 時間	2561 時間
(ア) スタジオ録音による製作図書（朗読・デイジー編集）		
	85 タイトル	94 タイトル
	637 時間	743 時間
(イ) 録音図書ネットワーク製作システムによる製作図書（朗読・デイジー編集）		

	164 タイトル	175 タイトル
	1,508 時間	1,396 時間
(ウ) シネマ・デイジーの製作 (デイジー編集)		
	3 タイトル	9 タイトル
	6 時間	14 時間
(エ) テレビ・デイジーの製作 (デイジー編集)		
	48 タイトル	48 タイトル
	431 時間	408 時間
② 録音図書のボランティア実績		
(ア) 朗読ボランティア		
	46 名	46 名
(イ) デイジー編集ボランティア数 (重複あり)		
	11 名	11 名
(ウ) 録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア数 (重複あり)		
	76 名	78 名
(エ) 現役朗読者を対象とした朗読技術指導		
延べ実施数	1 回	1 回
延べ人数	35 名	39 名
③ リクエストによる録音図書製作・ボランティア実績 (東京都委託分)		
(ア) 録音希望者	40 名	115 件
		790 時間 19 分
(イ) 朗読者	39 名	
(ウ) デイジー編集者	32 名	
(2) 録音雑誌の製作		
録音雑誌 月刊「にってんデイジーマガジン」の製作とサピエ図書館への登録		
(3) 池田輝子記念文庫製作事業		
スタジオ録音及びデイジー編集により、 74 タイトルの録音図書を製作した。		
(4) 電子書籍の製作数		
① テキストデイジー完成図書	200 タイトル	204 タイトル
② マルチメディアデイジー完成図書	6 タイトル	6 タイトル
	18 時間	21 時間
③ 電子書籍のボランティア実績		
(ア) クラウドソーシング型図書校正システムを使った校正実績		
	557 名	557 名
全 157 タイトルのうち、		
日本点字図書館	104 タイトル	282 タイトル

京都ライトハウス	53 タイトル	63 タイトル
(イ) テキストデイジー編集ボランティア	26 名	30 名
④ リクエストによるテキストデイジー製作	48 件 16 名	56 件 22 名
⑤ リクエストによるテキストデータ製作	28 件 12 名	25 件 10 名

[委託・補助・助成事業]

1. 厚生労働省委託事業

視覚障害者用図書等事業

	2025 年度	2024 年度
① 点字図書製作	30 タイトル 6,450 冊	30 タイトル 6,825 冊
② 点字図書貸出	274 タイトル 797 冊	280 タイトル 885 冊
③ 録音図書製作		
音声デイジー図書	15 タイトル	15 タイトル
マルチメディアデイジー図書	6 タイトル	6 タイトル
④ 録音図書貸出		
音声デイジー図書	791 タイトル	584 タイトル
マルチメディアデイジー図書	79 タイトル	71 タイトル

2. 厚生労働省補助事業

視覚障害者等情報総合ネットワーク管理事業（サピエ図書館）

		2025 年度	2024 年度
① 会員数	個人	22,352 名	21,572 名
	施設	497 ケ所	490 ケ所
② 目録タイトル		1,285,997 タイトル	1,260,524 タイトル
③ 点字データタイトル数		287,654 タイトル 997,744 件	274,018 タイトル 965,660 件
④ 年間点字データアップ数		10,756 タイトル	10,577 タイトル
⑤ 年間点字データダウン数	個人	401,980 タイトル	402,459 タイトル

	施設	28,090 タイトル	28,854 タイトル
⑥	音声デイジーデータタイトル数	134,737 タイトル	129,305 タイトル
⑦	年間音声デイジーデータアップ数	7,715 タイトル	8,393 タイトル
⑧	年間音声デイジーデータダウン数		
	個人	2,706,406 タイトル	3,453,370 タイトル
	施設	296,891 タイトル	282,040 タイトル
⑨	テキストデイジーデータタイトル数	18,997 タイトル	17,379 タイトル
⑩	年間テキストデイジーデータアップ数	1,733 タイトル	1,866 タイトル
⑪	年間テキストデイジーデータダウン数		
	個人	204,218 タイトル	234,350 タイトル
	施設	5,725 タイトル	5,208 タイトル
⑫	マルチメディアデイジーデータタイトル数		
		590 タイトル	539 タイトル
⑬	年間マルチメディアデイジーデータアップ数		
		57 タイトル	57 タイトル
⑭	年間マルチメディアデイジーデータダウン数		
	個人	5,223 タイトル	4,938 タイトル
	施設	632 タイトル	537 タイトル
⑮	年間音声デイジーデータストリーミングタイトル数		
	個人	520,105 タイトル	557,935 タイトル
	施設	8,432 タイトル	8,887 タイトル
⑯	年間目録検索件数	2,429,027 件	2,593,912 件
⑰	年間オンラインリクエスト受信数	190,431 件	210,799 件
⑱	全国の点字図書館・公共図書館等に対する情報提供		
		51,095 件	50,474 件
	内訳（複数提供あり）		
	電話	29,635 件	32,090 件
	点字・録音・墨字	17,778 件	13,885 件
	メール	2,956 件	4,055 件
	口答	726 件	444 件

3. 東京都委託事業

(1) 東京都視覚障害者用図書製作貸出事業

① 点字図書の製作・貸出

(ア) 製作	プリンタ図書	47 タイトル	(163 巻×2 部複製)
(イ) 貸出		190 タイトル	682 冊

② 声の図書の製作・貸出

(ア) 製作		80 タイトル	(80 枚×5 部複製)
(イ) 貸出		2,683 タイトル	2,691 枚

③ 希望図書の製作

(ア) 点訳希望者	101 名	148 件	65,683 ページ
(点訳者 16 名 14 グループ)			
(イ) 朗読希望者	40 名	115 件	790 時間 19 分
(朗読者 39 名 編集者 32 名)			

(2) 東京都視覚障害者用図書レファレンスサービス事業

視覚障害者、施設・団体に対する情報提供数	23,623 件
内訳 (複数提供あり)	
電話	17,683 件
点字・録音・墨字	3,844 件
メール	1,460 件
口答	606 件

4. 東京都補助事業

東京都からの補助金を得て、都内貸出事業を実施した。

5. 省庁・自治体からの委託・補助による事業

(1) 東京都消費生活総合センター

CD 版「東京くらしねっと」の作成及び配布	6 回	3,321 部
-----------------------	-----	---------

(2) 各市区町村委託事業

① 「広報新宿」	点字版製作及び配布	38 回	1,361 部
② 「しんじゅくのエデュ」	点字版製作及び配布	4 回	104 部
③ 「新宿区議会だより」	点字版製作及び配布	4 回	144 部
④ 「広報高崎」	点字版製作	12 回	480 部
⑤ 「高崎市議会だより」	点字版製作	4 回	168 部

6. 公的機関・団体・企業等からの委託及び助成・補助による事業

(1) 社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団

第8回全国視覚障害者囲碁大会の開催助成

(2) 社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団

- ①「新日曜名作座」「FM シアター」等、全6種類(音声デイジー版)の受入貸出
- ②「NHK 障害福祉賞入選作品集」音声デイジー版を80枚製作
- ③ 第8回全国視覚障害者囲碁大会の開催助成

(3) 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会（株式会社日本財託助成金）

施設内備品整備への助成

(4) 社会福祉法人中央共同募金会

大阪府民共済生活協同組合

点字図書1タイトル、録音図書1タイトルを製作・貸出

埼玉県民共済生活協同組合

点字図書2タイトル、録音図書2タイトルを製作・貸出

全国生活協同組合連合会

点字図書2タイトル、録音図書2タイトルを製作・貸出

全国労働者共済生活協同組合連合会

点字図書1タイトル、録音図書1タイトルを製作・貸出

教職員共済生活協同組合

点字図書2タイトル、録音図書2タイトルを製作・貸出

(5) 社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団

チャリティコンサート開催費助成

(6) 東京新聞社会事業団（社会福祉法人中日新聞社会事業団東京支部）

自立支援事業用什器の購入

(7) 社会福祉法人日本盲人福祉委員会

令和7年度（第27回）衆議院選挙公報の点字版を2,875部、音声版を790部複製

令和7年度（第51回）衆議院選挙公報の点字版を2,938部、音声版を1450部複製

(8) 社会福祉法人読売光と愛の事業団

① ロービジョン機器等相談事業の実施

（ア）職員研修の実施

開催日 2025年12月5日（金）

テーマ「ロービジョンケアへのサービスを考える」

講師 白井夕子氏（日本弱視者ネットワーク代表）

参加者 36名

（イ）ロービジョン向けグッズの充実、新型の携帯型読書器等274件1,055点を貸出

（ウ）本間一夫文化賞クリスタル盾製作

② 専門対面リーディングサービス事業の実施 利用者数281名

③ 視覚障害者用就労支援機器の購入

(9) 公益財団法人 JKA

「障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動」として、録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」を月 1 回年 12 回製作・発行。「にってんデイジーマガジン」に収録し、利用者・点字図書館・視覚特別支援学校・ハンセン病療養施設等へ 59,110 枚配布。

(10) 公益財団法人鉄道弘済会

録音雑誌「ブックウェーブ」を月 1 回年 12 回製作・配布(「にってんデイジーマガジン」に収録して配布)

(11) 公益財団法人東京都人権啓発センター

機関誌「TOKYO 人権」マルチメディアデイジー版を年 4 回製作、CD32 枚複製、サピエ図書館で配信

(12) 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

「障害者白書 令和 7 年版」朗読マスター作成

(13) 公益財団法人日本尊厳死協会

点字版「リビング・ウイル」を年 4 回、72 冊製作

(14) 公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団

点字カレンダー37,350 部の製作

(15) 公益財団法人早川清文学振興財団

「ハヤカワライブラリー」10 タイトルを製作し、138 ヶ所へ配布(計 1,500 枚)

(16) 公益財団法人一ツ橋総合財団

- ① 録音図書「一ツ橋文庫」10 タイトルを製作・貸出
- ② テキストデイジーの製作・提供
- ③ 録音図書ネットワーク製作システム「びぶりお工房」の維持運用
- ④ 音声・テキスト化における製作支援(生成 AI の活用)
- ⑤ 録音雑誌「にってんデイジーマガジン」一ツ橋財団提供の記念企画を掲載

(17) 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団

第 8 回全国視覚障害者囲碁大会の開催助成

(18) 公益信託久保記念点字図書援助基金

点字・録音図書の購入

(19) 公益財団法人日本盲導犬協会

マルチメディアデイジー版「盲導犬大百科 全 3 巻」を製作

(20) 公益財団法人東京都歴史文化財団江戸東京たてもの園

江戸東京たてもの園だより(第 64 号、第 65 号)音声デイジー版製作・発送

(21) 一般財団法人 NHK 財団

テレビ・デイジー48 タイトルの編集製作に係る助成

- (22) 一般財団法人日本宝くじ協会
点字図書 3 タイトル、録音図書（音声デイジー） 3 タイトル、録音図書（シネマ・デ
イジー） 3 タイトルを製作・貸出
- (23) 一般社団法人全国腎臓病協議会
機関紙「ぜんじんきょう」CD 版を 1,154 枚複製・配布
- (24) 一般社団法人日本アマチュア無線連盟
「点字 JARL NEWS」を年 4 回、325 冊製作
- (25) 株式会社岩波書店
岩波新書等のデイジー版を製作・貸出
- (26) 株式会社広済堂ネクスト
「文京スクエア」CD 版 年 12 回 240 部製作・発送
- (27) 株式会社セゾンテクノロジー
点字図書・録音図書・電子書籍の製作および提供に係る機器・ソフトウェアの購入
助成。視覚障害者の IT スキル習得支援に係る機器の購入助成
- (28) インフィニティプラス株式会社
新製品情報「SONY 聞くカタログ 第 64 号」を製作、「にってんデイジーマガジン」
に収録・配布
- (29) 株式会社ニッポン放送第 51 回ラジオ・チャリティ・ミュージックソン実行委員会
録音図書のデイジー編集製作に係る経費の助成
- (30) 株式会社文藝春秋
録音雑誌「文藝春秋」を月 1 回年 12 回製作・配布（「にってんデイジーマガジン」に
収録して配布）

7. 川崎市視覚障害者情報文化センター運営委託事業

(1) 図書情報提供サービス

	2025 年度	2024 年度
① 利用登録者数	506 名	519 名
(新規登録者数)	23 名	36 名
(点字使用者数)	112 名	119 名
② 利用登録団体	311 施設	309 施設
(新規利用登録団体数)	2 団体	3 団体
③ 点字図書の蔵書数および貸出・提供		
蔵書数 (タイトル)	3,995 タイトル	3,882 タイトル
(冊数)	13,860 冊	13,506 冊

蔵書数の変化	(新収書)	135 タイトル	153 タイトル
		440 冊	503 冊
貸出数		210 タイトル	386 タイトル
		762 冊	1,187 冊
	(内 他館借受)	64 タイトル	96 タイトル
		279 冊	364 冊
	(雑誌)	127 タイトル	133 タイトル
点字図書コンテンツのダウンロード提供			
	メモリーメディア	1 タイトル	29 タイトル
④ 録音図書の蔵書数および貸出・提供			
蔵書数	(タイトル)	7,308 タイトル	7,065 タイトル
	(枚数)	9,804 枚	9,367 枚
蔵書数の変化	(新収書)	244 タイトル	247 タイトル
		360 枚	399 枚
貸出数			
	(ア) カセットテープ	22 タイトル	23 タイトル
		158 巻	113 巻
	(イ) CD図書	6,623 タイトル	6,907 タイトル
	(内 他館借受)	3,047 タイトル	2,892 タイトル
	(内 シネマ・デイジー)	290 タイトル	635 タイトル
	(ウ) CD雑誌	2,813 タイトル	3,166 タイトル
デイジー図書コンテンツダウンロード提供			
	メモリーメディア	4,269 タイトル	3,805 タイトル
	(内 デイジーオンラインサービス)	323 タイトル	328 タイトル
⑤ 対面朗読		17 名	9 名
⑥ レファレンスサービス情報提供件数		207 件	358 件
(2) 資料製作			
① 点字図書の製作数			
	(ア) 製作数	45 タイトル	40 タイトル
		179 冊	159 冊
	内訳		
	委託製作数	18 タイトル	17 タイトル

	69 冊	72 冊
委託外製作数	27 タイトル	23 タイトル
	110 冊	87 冊
(イ) 寄贈	24 タイトル	34 タイトル
	64 冊	109 冊
(ウ) プライベートサービス	11 タイトル	18 タイトル
② 録音図書の製作数		
(ア) 製作数	78 タイトル	54 タイトル
内訳		
委託製作数	53 タイトル	34 タイトル
委託外製作数	13 タイトル	19 タイトル
録音雑誌	12 タイトル	12 タイトル
(イ) デイジー編集	78 タイトル	54 タイトル
(ウ) 寄贈	104 タイトル	77 タイトル
(エ) プライベートサービス	24 タイトル	17 タイトル
内訳		
録音	19 タイトル	10 タイトル
テキストデイジー (合成音声デイジー含)		
	4 タイトル	2 タイトル
プレーンテキスト	1 タイトル	0 タイトル
PDF	0 タイトル	0 タイトル
テープのデイジー化	0 タイトル	1 タイトル
テープのダビング	0 タイトル	4 タイトル
③ テキストデイジー図書の製作数	1 タイトル	2 タイトル
④ シネマ・デイジー/音声ガイドの製作数		
製作数	6 タイトル	7 タイトル
内訳		
センター内製作数	6 タイトル	3 タイトル
委託製作数	—	4 タイトル
(3) 点訳ボランティア、朗読ボランティアの養成		
① 点訳ボランティア養成講座		
開催回数	—	17 回
実受講者数	—	5 名

② 点訳ボランティアスキルアップ研修会					
	開催回数	4 回		—	
	延べ受講者数	27 名		—	
③ 朗読ボランティア養成講座					
	開催回数	—		—	
	実受講者数	—		—	
④ 朗読ボランティアスキルアップ研修会					
	開催回数	2 回		3 回	
	延べ受講者数	36 名		17 名	
⑤ 音声ガイド勉強会					
	開催回数	3 回		—	
	延べ受講者数	22 名		—	
(4) 訓練・相談事業の取り組み					
① 訓練	訓練者数	21 名	117 回	24 名	227 回
	(新規訓練者実数)	11 名		6 名	
内訳（複数提供あり）					
	歩行訓練	7 名	40 回	9 名	105 回
	パソコン訓練	1 名	10 回	1 名	16 回
	ICT 訓練	8 名	50 回	4 名	34 回
	点字訓練	3 名	15 回	3 名	61 回
	生活訓練(日常・調理)	1 名	1 回	1 名	3 回
	その他	1 名	1 回	6 名	8 回
② 相談		413 名	720 回	414 名	726 回
③ 訓練生交流会の開催					
(ア) 屋外交流会（10 月）（浜離宮恩賜庭園、豊洲市場）					
訓練生 8 名、付き添い 8 名					
(イ) 「働く人たちの座談会」					
10月11日		参加者 来場10名・オンライン8名			
(ウ) 「点字訓練アフターフォローの会」					
7月17日		参加者 3名			
(エ) 「iPhone訓練アフターフォローの会」					
11月19日		参加者 7名			
(5) 用具の展示と販売紹介					

2025 年度

2024 年度

① 展示点数	437 点	420 点
② 販売紹介点数	1,234 点	1,564 点

(6) 啓発普及

① 医療と福祉の連携研修の開催

8 月 23 日

オンライン参加 26 名

② 授業・講座への講師派遣

(ア) 当事者職員による「視覚障害者の生活について」学校授業

6 月 24 日	南百合丘小学校	参加者 4 年生	16 名
9 月 24 日	向小学校	参加者 4 年生	18 名
10 月 1 日	塚越中学校	参加者 2 年生	約 200 名
10 月 7 日	幸町小学校	参加者 4 年生	98 名
11 月 25 日	浅田小学校	参加者 4 年生	21 名
12 月 10 日	川崎区内の宮前小学校	参加者 4 年生	約 140 名
2 月 3 日	今井小学校	参加者 4 年生	約 90 名

(イ) 同行援護従業者研修講師

総合研修センターにおいて実施された同行援護従業者（一般過程）研修
「同行援護の基礎知識」講師派遣

6 月 27 日・9 月 30 日・11 月 29 日

延べ参加者 30 名

(ウ) 川崎市中原区社会福祉協議会主催夏休みボランティア体験「チャレボラ 2025」への講師派遣

7 月 23 日

参加者 中学 2 年生から高校 3 年生 7 名

(エ) 東京医薬看護専門学校（江戸川区）『視覚障害リハビリテーション』講師

10 月 21 日・11 月 11 日

参加者 2 年生 16 名

③ 地域への普及活動

(ア) 「認知症のひととみんなのつながるカフェ」（高津区）への講師派遣

7 月 2 日 喫茶たのしい家

参加者 27 名

2 月 17 日 みんなでつくる末長カフェ

参加者 27 名

(イ) 「KAWASAKI しんゆり映画祭の誘導ボランティアスタッフ養成研修」への講師派遣

8 月 2 日

参加者 21 名

(ウ) 第 9 回手をつなぐフェスティバル

11 月 29 日

参加者 23 名

(エ) 「舞台をみんなで楽しむためのご案内講座」への講師派遣

12 月 26 日

参加者 9 名

(オ) 「ミュージアム運営のためのアクセシビリティ研修」への講師派遣

1月29日

参加者 27 名

(7) イベントの開催

(ア) 音声ガイド付き DVD 映画体験上映会 開催数 12 回 延べ参加者 416 名

(イ) ヨガ教室 …………… 開催数 12 回 延べ参加者 104 名

(ウ) CD で聴くクラシック音楽講座 開催数 5 回 延べ参加者 141 名

(エ) 歴史的音源を聴く会「れきおんクラブ」 開催数 5 回 延べ参加者 87 名

(オ) 小説の中の音を楽しむ会…………… 開催数 2 回 延べ参加者 44 名

(カ) 出張イベント「小説の中の音を楽しむ会」開催数 2 回 延べ参加者 38 名

(キ) 春のコンサート (5 月) …………… 参加者 112 名

(ク) 声の図書聴き比べイベント

「オーディオブック・サロン」(5 月) …………… 参加者 149 名

(ケ) 出張イベント「ファンケルメイクセミナー」(9 月) 参加者 8 名

(コ) 音声ガイド製作ワークショップ (12 月) …………… 参加者 8 名

(サ) ほっこりサロンアイ eye (2 月) …………… 参加者 4 名

(シ) 音戦宅球 (2 月) …………… 参加者 10 名

(ス) 漫才公演「宮田陽・昇 独演会」(2 月) …………… 参加者 81 名

※センターまつり (12 月) は電気設備故障による全館停電のため、中止

(8) その他

① センスプレーヤー体験会…………… 開催数 3 回 延べ参加者 9 名

II ≪社会福祉事業 2≫

障害福祉サービス事業及び相談事業の経営

1. 相談支援事業

(1) 基本相談	2025 年度	2024 年度
	235 件	390 件

相談内容は、視機能の低下に伴う不安や困りごとに関することが多く、そのかたのニーズにあわせ、自立訓練、同行援護、用具の紹介などを行った。

(2) 見えない、見えにくい困りごと相談デスク	55 件	40 件
-------------------------	------	------

(内訳) 相談会対応：7 件 相談会以外対応：20 件 電話対応：24 件 訪問：4 件

見えない、見えにくい困りごと相談デスクでは、不安解消や情報収集を目的とした

ものが多く、それに続くものとして用具選定や用具利用、就労関係などの相談が寄せられた。当館だけで解決できないケースについては外部の関係機関と連携し、相談者が次のステップに進めるよう支援を行った。

2. 自立訓練（生活訓練）事業

自立訓練（生活訓練）	2025 年度		2024 年度	
実人数	114 人		95 人	
延べ回数	2,228 回		2,652 回	
内訳（複数提供あり）				
歩行訓練	28 人	231 回	28 人	331 回
点字訓練	31 人	467 回	27 人	546 回
ICT 訓練※	82 人	1,252 回	80 人	1,505 回
日常生活訓練	24 人	79 回	7 人	59 回
ロービジョン訓練	1 人	1 回	4 人	11 回
運動・余暇	34 人	198 回	53 人	200 回

※ICT 訓練とは

パソコン、スマートフォン、タブレット等のICT機器を音声出力、音声入力、拡大出力等を利用することにより活用できるようになるための訓練

3. 医療機関との連携

相談会の実施	2025 年度	2024 年度
お茶の水・井上眼科クリニック	3 回	3 回
西葛西・井上眼科病院	1 回	2 回

4. 点字教室の実施

点字教室	2025 年度	2024 年度
開催回数	63 回	83 回
延べ受講者数	153 名	203 名
（新入生）	3 名	6 名

※週に 1 回（火曜日）実施

5. 短期訓練の実施

短期訓練（1 コマ 1 時間の 6 コマ）	2025 年度	2024 年度
	7 名	17 名

Ⅲ《公益事業》

盲人生活用具の開発と普及及び国際視覚障害者情報提供協力事業

1. 視覚障害者用具の販売斡旋

	2025 年度	2024 年度
(1) 取扱商品点数	967 点	946 点
販売斡旋数	68,897 点	79,800 点
(2) 新商品（新規取扱商品）	39 点	31 点
主な新商品：点字ディスプレイ Next Touch40、レンジでらくチン！ゆでたまご 4 個用、ベジタブルスチーマーベジスチ、タニタ 音声タイマー、 GRUS ボイス電波クロック、アイリスオーヤマ 2 口 IH コンロ、マ グネット段々計量スプーン、キザキケーン S/L（折りたたみ）スタ ンダード/パームチップ式、キザキケーン身体支持併用、拡大読書器 クローバーブック・メイト、携帯型拡大読書器ルビー10、指先が出 るやわらか手袋、点字ブロックキーホルダー、ハンディルーペ丸型 /角型 3.5 倍、ハンディルーペ丸型 6 倍(30mm 径)、ハイタッチ！ さかだっち！ショウタイム、ミミクリーペットまねっこベイベー		
(3) 海外諸国への輸出件数	6 件	5 件
主な輸出国：台湾、韓国、中国		
主な販売商品：32 マス標準点字盤、点筆、点字カードプレス機、表面作図器用紙、ス ライド式サポートケーン、サッカーボール、バレーボール、ブラインド サウンドテーブルテニス、オセロゲーム、触読式腕時計、堀江そろば ん、計量ポットさじかげん、ユニバーサルタイマー		
(4) 体験会・展示会		
(ア) 各種機器体験会の実施	26 回	32 回
(イ) 展示会への出展	5 ヶ所	11 ヶ所
(ウ) 用具商品の貸出展示	9 回	10 回
(貸出先：点字図書館など)		
(エ) ゲーム会の開催	7 回	3 回
(オ) 補装具・日常生活用具制度の説明、各種相談会開催	1 回	1 回
(5) インターネットショッピングサイト「わくわく用具ショップ」の運営		
① 会員数	7,374 名	7,598 名
(2025 年 12 月 18 日のショッピングサイトのリニューアルに伴い、再登録されな かった方がいたため一時的に減少)		
② 新規会員数	308 名	439 名

(2025 年 12 月 18 日のリニューアル後の新規会員数)

③ 受注件数	4,359 件	4,755 件
④ 受注商品点数	22,719 点	25,572 点
(③受注件数および④受注商品点数は年間の数値)		

(6) 広報の充実

- ① 新商品情報誌「ニュー用具タイムズ」を年 4 回製作。(5 月、7 月、11 月、3 月)
「にってんデイジーマガジン」、「サピエ図書館」にコンテンツを提供した。
- ② 「にってんデイジーマガジン」に商品の CM を提供 (4 月、6 月、8 月、9 月、10 月、12 月、1 月、2 月)
- ③ 「ホームライフ」の「わくわく用具タイム」のコーナーで、新商品を 4 回紹介した。
- ④ インターネットショッピングサイト「わくわく用具ショップ」会員に対して、メールマガジンを配信し、新商品のお知らせやイベントを紹介した。
- ⑤ YouTube にて商品紹介動画 (音声のみ) を 1 回掲載した。

(7) 企業 CSR との連携

東京海上日動安心 110 番株式会社、東京海上日動調査サービス株式会社、日本郵船株式会社、旭海運株式会社、三菱商事株式会社、三菱食品株式会社、三菱鉱石輸送株式会社のボランティア活動において、用具事業課で使用する点字シールや封筒を製作していただいた。

2. 厚生労働省委託事業

	2025 年度	2024 年度
盲人用具販売あっ旋事業	17 種 12,937 点	15 種 14,540 点

3. 池田輝子 ICT 奨学金事業

第 21 回池田輝子 ICT 奨学金事業を実施した。

実施期間：2025 年 6 月 23 日～7 月 5 日 ICT 訓練 中級コース

実施場所：ペナン(マレーシア)

参加者：6 名

4. アジア盲人図書館協力事業

中東情勢悪化により実施見送り。

IV《収益事業》

マンションの設置経営

2棟の賃貸マンション（総戸数34戸）を運営し、生じた収益は、社会福祉事業及び公益事業に充当した。

V《本部事業》

1. 寄付・助成金の増収

(1) 毎年継続の寄付の依頼状発送に加え、新規寄付者獲得に努力した。

	2025年度	2024年度
新規寄付者	188名	129名
総件数	6,545件	6,819件

(2) ワンブック・プレゼント運動

点字図書	18件 33口	13件 37口
録音図書	35件 70口	21件 80口

2. 日本点字図書館カード会員の拡大

ホームページ上の特設ページで広報し、加入者の拡大を図った。

3. チャリティコンサートの実施

第23回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート

「室内楽の愉しみ」

出演：澤 亜樹（ヴァイオリン）・澤 和樹（ヴィオラ）・鳥羽 咲音（チェロ）
菅田 利佳（ピアノ）

2025年12月13日（土） 東京文化会館 小ホール

来場者 474名

4. 第22回本間一夫文化賞の贈呈

シナノケンシ株式会社（録音図書の国際規格DAISY及び再生機等の開発と普及に尽力し、視覚障害者の読書・情報利用環境の改善に貢献）

5. 第32回にってん野路菊賞の贈呈

竹原明樹氏（ふれる博物館のガイドとして貢献）

6. 広報誌その他の活動

- ① 広報誌「にってんフォーラム」(年4回、各5,400部)を発行した。
- ② 「感謝録」(7,000部)を発行し、寄付者を中心に関係団体等に配布した。
- ③ 「事業案内」(9,361部)を発行し、寄付依頼に同封するとともに、関係者(団体)等に配布した。
- ④ ホームページから定期的に情報を発信した。訪問者数の合計729,185件、ページ閲覧数の合計1,260,299件
- ⑤ X(旧ツイッター)による情報発信を延べ108件おこない、フォロワー4,490名を獲得した(前年比76名増)
- ⑥ 当館からのお知らせや企業・団体等から寄せられた催しをメールで案内する「にってんニュースレター」を合計12回、延べ7,507名に配信した。
- ⑦ 見学の受け入れ 150件 741名

7. イベントの実施、他団体への協力

(1) 主催

視覚障害や当館事業にかかる1回1テーマの体験型講座「にってんワークショップ」を開催(全10回、参加者119名)

テーマ「聞く」

開催日:2025年6月21日(土)・10月18日(土)・2026年1月17日(土)

参加者:合計21名

テーマ「触れる」

開催日:2025年7月19日(土)・11月22日(土)・2026年2月21日(土)

参加者:合計33名

テーマ「いっしょに楽しむ喫茶^{カフェ}にってん」

開催日:2025年9月20日(土)・12月20日(土)・2026年3月21日(土)

参加者:合計19名

子ども向け特別企画「夏休み・キッズチャレンジ!」

開催日:2025年8月2日(土)

参加者:46名

(2) 共催・協力

第13回 Tokyo Eye Festival・第3回東京ロービジョンサポートフェア

ロービジョンコーナーにてロービジョングッズの展示、図書館案内・自立支援室の案内・用具カタログを配布、「レクチャーコーナー」にてサピエ図書館の紹介、白杖歩行体験を行った。

開催日：2025 年 10 月 4 日（土）・5 日（日）

会場：新宿駅西口広場イベントコーナー「ガラスの扉のイベント広場」

来場者数：2,038 名

第 8 回全国視覚障害者囲碁大会

NPO 法人日本福祉囲碁協会との共催

開催日：2025 年 6 月 21 日（土）

会場：リフレッシュ氷川（渋谷区）

参加者数：35 名

8. 奥村文庫(視覚障害関係墨字資料室)の充実

視覚障害に関わる情報収集を行ない、問い合わせに対して適切な資料と情報の提供に努めた。

	2025 年度	2024 年度
視覚障害関係墨字資料の収集		
図書	134 点	244 点
雑誌	135 点	100 点
新聞記事	404 点	256 点
WebOPAC アクセス件数	8,065 件	3,489 件
利用件数		
来室者	883 人	682 人
レファレンス	1,166 件	785 件
複写サービス	141 枚	51 枚

9. 「ふれる博物館」の運営

共催：手と目でみる教材ライブラリー

水・金・土曜日に開館

年間合計 開館日数 97 日 来場者 785 人（昨年度 102 日・730 人）

- ① 第 16 回企画展「キャラクターをさわろう ―正義と平和と愛のキャラクターに触れる―」

協力 一般社団法人日本玩具協会
公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団
公益財団法人共用品推進機構
久米井靖裕（元おもちゃ博物館館長）

特別協力 株式会社 アガツマ
株式会社 セガ フェイブ Toys カンパニー
株式会社 タカラトミー

株式会社 バンダイ
株式会社 メガハウス
株式会社 メディコム・トイ
会期 2025 年 5 月 21 日(水) ～9 月 13 日(土) (48 日間)
来場者数 381 人(うち視覚障害者 137 人※)

- ② 第 17 回企画展「にってん feel ハーモニー」
協力 筑波大学附属視覚特別支援学校
武蔵野音楽大学楽器ミュージアム
一ツ目弁天会
新潟大学工学部 渡辺哲也
会期 2025 年 11 月 12 日(水)～2026 年 3 月 22 日(土) (49 日間)
来場者数 404 人(うち視覚障害者 172 人※)

注：※は概数

10. 本間一夫記念室の維持管理

- ① 創立者本間一夫及び当館の歴史関係資料を収集管理し、来館者に公開した。
年間来室者数 511 人(昨年度 439 人)
- ② 著作権許諾はがきの公開を開始
はがき公開許可を得た 519 点から、1 著作者 1 点を原則に、アイウエオ順に 81 点を公開した。

VI《会議・研修・福利厚生》

1. 会議

(1) 役員会の開催

- | | |
|--------|-----|
| ① 理事会 | 4 回 |
| ② 評議員会 | 2 回 |

(2) 部課長会議・グループリーダー会議の開催

- | | |
|--------------|---------------|
| ① 部課長会議 | 12 回(内書面 1 回) |
| ② グループリーダー会議 | 12 回(内書面 1 回) |

(3) 各委員会の開催

- | | |
|------------------|-----|
| ① にってんフォーラム編集委員会 | 8 回 |
| ② ホームページ製作委員会 | 1 回 |

③ 選書委員会	11 回
④ 防災・衛生委員会	0 回
⑤ 本間記念室・ふれる博物館委員会	2 回
⑥ 事業等検討委員会	11 回
⑦ 広報委員会	12 回（書面）
⑧ 製作効率化検討ワーキンググループ会議	5 回
⑨ プリント室体制検討ワーキンググループ会議	6 回
⑩ サピエ・CLIS システム管理班会議	12 回

2. 表彰・研修

(1) 表彰関係

① 奉仕者（外部表彰）

（ア）東京都知事感謝	1 団体
（イ）東京都社会福祉協議会会長表彰	2 名・1 団体
東京都社会福祉協議会会長感謝	2 名
（ウ）日本盲人社会福祉施設協議会表彰	2 名
（エ）鉄道弘済会表彰	3 名

② 勇退奉仕者（内部表彰）

感謝状と記念品の贈呈	15 名・1 団体
------------	-----------

③ 職員

（ア）理事長表彰

永年勤続表彰	職員	2 名
	パートタイマー職員	1 名
奨励賞		3 名・1 グループ

（イ）外部表彰

日本盲人社会福祉施設協議会（永年勤続）	1 名
東京都社会福祉協議会（永年勤続）	
職員	4 名

(2) 職員研修

① 内部研修

ハラスメント研修（厚労省委託で運営されている「ハラスメント対策の総合サイトあかるい職場応援団」を視聴し、課内で意見交換を実施）

1 月 14 日（水）～2 月 28 日（土）、対象者 74 名

② 外部主催研修 17 件、延べ 59 名

3. 福利厚生

- (1) 職員健康診断を 121 名（高田馬場 107 名、川崎 14 名）に実施した。
- (2) ストレスチェックを 99 名（高田馬場 85 名、川崎 14 名）に実施した。

4. その他（委員・講師等派遣）

以下の外部会議・研修会等に委員・講師等の派遣を行った。

- ・「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」第18条に基づく国の「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に係る関係者協議会」構成員への就任
 - ・「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」第11条第2項に基づく国の「特定書籍等の製作に係るデータ提供のあり方についてのワーキンググループ」構成員への就任
 - ・筑波技術大学保健科学部 「視覚障害者と読書」について講話
 - ・品川区視覚障害者福祉協会「白杖を使つての歩行訓練の基礎知識と基本動作」講演
 - ・日本図書館協会主催障害者サービス担当職員養成講座講師
- ほか